

# 平成25年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	24-1		学校名	県立水戸桜ノ牧高等学校常北校			課程	全日制		学校長名	野内俊明					
教頭名	森田 一 洋									事務(室)長名	本麻英明					
教職員数	教諭	13	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	3	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	2	計	28
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計	クラス数		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		16	14	50	23	26	23			92	60	152	5		
	科															

## 2 目指す学校像

県立水戸桜ノ牧高等学校常北校として新たな歴史を刻み、校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現 状 分 析	課 題
学習指導	学力向上を目指しているが、学習意欲が低下している。基礎学力の向上を図ることが必要である。	教員の指導力向上を図りながら、基礎学力の向上を図る。生徒の学習意欲を喚起する必要がある。
進路指導	進路指導の充実を図る。卒業生61名は、進学25名、就職30名、その他6名である。進路指導が重要な状況である。	進路指導の充実を図る。進学希望者を支援し、進路意識を高める必要がある。
生徒指導	生徒の生活態度や規範意識の向上を図る。生徒の生活習慣や規範意識の向上を図る必要がある。	生徒の生活態度や規範意識の向上を図る。生徒の生活習慣や規範意識の向上を図る必要がある。
特別活動	1年生の入学式や行事を通じて、生徒の協同性や積極性を育てる必要がある。	1年生を含む部活動を全教員で指導し、放課後の活動を充実させるとともに、生徒の協同性や積極性を育てるホームルーム活動を行う必要がある。

## 4 中期的目標

1	学校行事を精選し、授業時間を確保する	1時間、1時間の授業の充実を図る。
2	授業や特別活動等を通じ、心を育む	1時間、1時間の授業の充実を図る。
3	挨拶の励行を促す	1時間、1時間の授業の充実を図る。
4	部活動への加入を促進し、学校活性化を図る	1時間、1時間の授業の充実を図る。
5	国際理解教育を推進し、国際社会に生きる力を養う	1時間、1時間の授業の充実を図る。

## 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 学力の向上と定着	① 創意工夫を凝らし、教材研究や教員相互の積極的な授業研修等を通じて、よりよい授業を展開する。 ② シラバスを活用し、学習意欲の喚起を図り、計画的・継続的な学習をさせる。 ③ 学力向上を促す。少人数習熟度別授業を有効に活用して、基礎学力を向上させる。
2 基本的な生活習慣の確立	④ 頭髪・服装や遅刻防止の指導を徹底して、基本的な生活習慣を確立させる。 ⑤ 登下校時の安全指導や開始・終了時、校内での挨拶を徹底させる。 ⑥ 学年3回理解に努める。面談や家庭訪問、スクールカウンセラーとの連携等を通して
3 希望する進路の実現	⑦ 3年間を見通した計画的なキャリア教育を実践する。 ⑧ キャンパス・職場見学、インターンシップ、各種講演会、各種講習会等により進路意識を高揚させる。 ⑨ 学力向上と高定着の取り組みや資格取得の奨励を通して、より確かな進路実現を目指す。
4 特別活動及び部活動の活性化と豊かな人間性の涵養	⑩ 学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動を通して、生徒の積極性を引き出す。 ⑪ 生徒の部活動への積極的な参加を促して、望ましい人間関係づくりと充実した放課後の生活を営む。 ⑫ 他人を思いやる心を育て、豊かな人間性を培う。
5 地域から信頼される学校づくりの推進	⑬ ホームページや地域広報誌、学校新聞等のPR手段を十分に活用して、保護者・地域に対し、積極的に情報を提供する。 ⑭ 学校評議員や近隣中学校等の意見を参考に、地域と連携した教育活動を展開する。 ⑮ 学校公開を計画的に実施して、本校に対する地域の理解促進を図る。 ⑯ 2年度からの分校化に伴い、分校としての特長を活かしながら地域との連携を図る。